

# 4ポート USB KVMスイッチ - DisplayPort 4K 60Hz

SV431DPUA2



\*実際の製品は写真と異なる場合があります。

FR: Guide de l'utilisateur - [fr.startech.com](http://fr.startech.com)

DE: Bedienungsanleitung - [de.startech.com](http://de.startech.com)

ES: Guía del usuario - [es.startech.com](http://es.startech.com)

NL: Gebruiksaanwijzing - [nl.startech.com](http://nl.startech.com)

PT: Guia do usuário - [pt.startech.com](http://pt.startech.com)

IT: Guida per l'uso - [it.startech.com](http://it.startech.com)

本製品の最新情報、技術仕様、サポートについては、  
[www.startech.com/SV431DPUA2](http://www.startech.com/SV431DPUA2) をご覧ください。

## FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則/パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合(干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます)、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします:

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

本デバイスは、FCC規格Part 15に準拠しています。お使いの際には、次の注意事項をよくお読みください。(1) 本デバイスが有害な干渉を引き起こすことはありません。(2) 本デバイスは予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければなりません。

StarTech.comにより明示的に承認されていない変更もしくは改変を行った場合、本デバイスを操作するユーザー権限が無効になる恐れがあります。

## カナダ産業省ステートメント

本クラスBデジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

## 商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用する場合がありますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

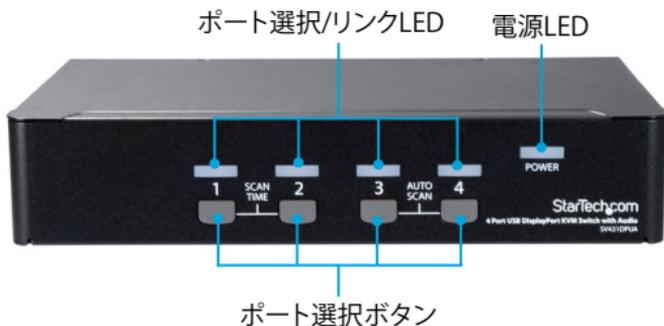
# 目次

<b>製品図</b> .....	<b>1</b>
フロントビュー .....	1
バックビュー .....	1
<b>パッケージの内容</b> .....	<b>2</b>
動作環境および使用条件.....	2
<b>LEDインジケータについて</b> .....	<b>3</b>
<b>インストール手順</b> .....	<b>3</b>
PCを準備する.....	3
コンソールをKVMスイッチに接続する.....	3
コンピュータをKVMスイッチに接続する.....	4
ドライバについて.....	5
<b>コンピュータを選択する</b> .....	<b>5</b>
<b>オートスキャン</b> .....	<b>5</b>
スキャン時間を設定する.....	6
<b>ホットキーコマンドを使う</b> .....	<b>6</b>
ホットキーコマンドを無効にする.....	6
コンピュータを選択する.....	7
オートスキャン.....	7
スキャン時間を設定する.....	7
コンピュータを手動でスキャンする.....	7
オーディオスティック機能を無効にする.....	8
USBポートルール機能を有効または無効にする.....	8
別のホットキーコマンドを使用する.....	9

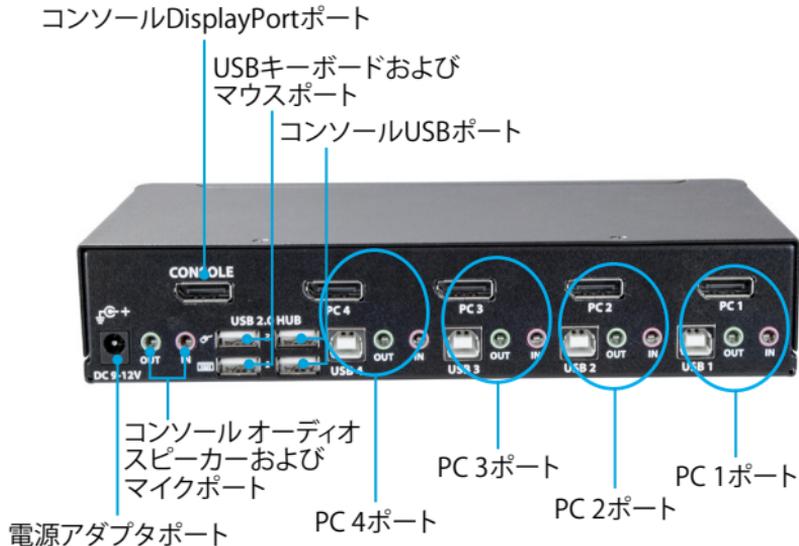
<b>トラブルシューティング .....</b>	<b>9</b>
ワイヤレスマウスとキーボードが動作しない .....	9
ゲーミング/コンビネーション マウスとキーボードが動作しない .....	10
使用しているディスプレイまたはビデオ出力先がDisplayPortとは異なるタイプの ビデオコネクタを使用している .....	10
キーボードをKVMスイッチに接続すると入力動作が継続する .....	10
マウスがモニタ間を正常に移動しない .....	10
<b>技術サポート .....</b>	<b>12</b>
<b>保証に関する情報.....</b>	<b>12</b>

# 製品図

## フロントビュー



## バックビュー



# パッケージの内容

- 1 x KVMスイッチ
- 4 x フットパッド
- 1 x ユニバーサル電源アダプタ (北米/日本、EU、UK、オーストラリア・ニュージーランド規格対応)
- 1 x クイックスタートガイド

## 動作環境および使用条件

- DisplayPort™ケーブル
- 1 x USB-A - USBケーブル または USB-C - USB-Bケーブル
- 3.5mmオーディオケーブル
- DisplayPort対応コンピュータシステムとビデオカード
- USB対応コンピュータシステム
- DisplayPort対応ディスプレイデバイス (例: モニタ、プロジェクタ、TVなど)
- 業界標準有線または無線USBキーボード
- 業界標準有線または無線USBマウス

条件は変更される場合があります。最新のシステム要件は、[www.startech.com/SV431DPUA2](http://www.startech.com/SV431DPUA2) でご確認ください。

# LEDインジケータについて

KVMスイッチには、ポート選択機能/各ポートごとのLEDリンク、電源LEDが備わっています。LEDの詳細情報は下記の表をご覧ください。

LED	動作	シナリオ
電源LED	点灯している	KVMスイッチに電力供給中
	緑色に点灯している	接続先コンピュータの電源がオンになっている
	赤色に点灯している	接続先コンピュータを現在選択中
ポート選択/ リンクLED	点滅している	オートスキャンプロセスが進行中

## インストール手順

### PCを準備する

以下はPCを使用している場合の手順で、macを使用している場合は必要ありません。

1. **Standard CMOS (標準CMOS)** で、**Halt on Error (エラーで作業を中断する)** を **All But Keyboard (キーボードを除くすべて)** に設定します。
2. **PNP and PCI Setup (PNPおよびPCIの設定)** で、**PNP OS Installed (PNP OSインストール済み)** を **YES (はい)** に設定します。
3. **PNP and PCI Setup (PNPおよびPCIの設定)** で、**USB IRQをEnabled (有効)** に設定します。

### コンソールをKVMスイッチに接続する

1. コンピュータおよび当該コンピュータに接続しているデバイスや周辺機器 (例: プリンタ、外付けHDDなど) の電源を切ります。
2. モニタまたはディスプレイをコンソールDisplayPortポートに接続します。

3. 次の手順のひとつを実行してください。
  - ・ キーボードとマウスをUSBキーボードポートとマウスポートに接続します。
  - ・ 無線キーボードとマウスの組み合わせを使用している場合は、無線レシーバをキーボードポートに接続します。
4. 以下の手順のいずれかを実行します。
  - ・ スピーカーをコンソールオーディオポートに接続します。
  - ・ マイクをコンソールマイクポートに接続します。
  - ・ USB対応周辺機器をUSBハブポートに接続します。

## コンピュータをKVMスイッチに接続する

KVMスイッチには最大4台までのコンピュータを接続できます。

1. KVMスイッチに接続したいコンピュータとそのコンピュータに接続されているデバイスや周辺機器 (例: プリンタ、外付けHDDなど) の電源を切ります。
2. DisplayPortビデオケーブルをコンピュータのDisplayPortポートとKVMスイッチのPC接続ポートのひとつに接続します。
3. USBケーブルをコンピュータのUSBポートとKVMスイッチのPC USBポートに接続します。
4. オーディオを使用している場合は、スピーカーおよび/またはマイクをKVMスイッチのPCオーディオスピーカーおよびマイクポートに接続します。
5. 追加でコンピュータを接続するには、手順1~4を繰り返します。
6. 接続したコンピュータまたはデバイス間でUSB対応周辺機器を共有する場合は、USB対応周辺機器をKVMスイッチのUSBハブポートに接続します。
7. ユニバーサル電源アダプタをKVMスイッチの電源アダプタポートとコンセントに接続します。電源LEDが点灯します。
8. コンピュータに接続しているデバイスや周辺機器の電源を入れてから、接続先のコンピュータの電源を入れます。コンピュータが起動するまで待ち、接続したキーボードとマウスの動作をテストします。
9. KVMスイッチに追加でコンピュータを接続している場合は、別のポートを選択して、接続しているコンピュータの動作をすべて確認できるまでステップ8を繰り返します。

## ドライバについて

キーボードとマウスはUSB技術に対応しているオペレーティングシステムに既にインストールされている汎用USBドライバを使用しているため、本KVMスイッチにドライバをインストールする必要はありません。

## コンピュータを選択する

コンピュータを選択するには、次の手順のひとつを実行します。

- 選択したい接続コンピュータ用のポート選択ボタンを押します。選択したポートのポート選択/リンクLEDが赤く点灯します。
- Windows®またはLinux®のバージョンを実行しているコンピュータを使用している場合、ホットキーコマンドを使用してコンピュータを選択することができます。ホットキーコマンドを使用するには、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**Left Ctrl (左Ctrl)**、<選択したいコンピュータの番号>を押します。選択したコンピュータのポート選択/リンクLEDが赤く点灯します。ホットキーコマンドに関する詳細は、ユーザマニュアルのホットキーコマンドを使用するセクションをご覧ください。

## オートスキャン

KVMスイッチのオートスキャン機能では、接続しているコンピュータを設定されているスキャン時間で順番にスキャンすることができます。オートスキャン中にキーボードやマウスの何らかの操作を検知すると、操作が停止するまでスキャンを保留し、順番に従って次のコンピュータをスキャンします。

オートスキャンを開始するには、次の手順のひとつを実行します。

- ポート選択ボタン3と4を同時に押します。ポート選択/リンクLEDがオートスキャンのプロセス進行中に点滅します。オートスキャンを終了するには、ポート選択ボタンのどれかを押します。
- WindowsまたはLinuxのバージョンを実行しているコンピュータを使用している場合、ホットキーコマンドを使用してオートスキャンを開始することができます。ホットキーコマンドを使用するには、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**F1**を押します。オートスキャンのプロセス進行中はポート選択/リンクLEDが点滅します。オートスキャンを終了するには、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**Left Ctrl (左Ctrl)**を押します。ホットキーコマンドに関する詳細は、ユーザマニュアルのホットキーコマンドを使用するセクションをご覧ください。

## スキャン時間を設定する

スキャン時間は、3、8、15、30秒のどれかに設定できます。

スキャン時間を設定するには、次の手順のひとつを実行します。

- ポート選択ボタン1と2を同時に押します。スキャン時間ごとにKVMスイッチがビープ音を鳴らします。3秒では1回、8秒では2回、15秒では3回、30秒では4回ビープ音が鳴ります。
- WindowsまたはLinuxのバージョンを実行しているコンピュータを使用している場合、ホットキーコマンドを使用してオートスキャンを開始することができます。ホットキーコマンドを使用するには、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**F3**を押します。スキャン時間ごとにKVMスイッチがビープ音を鳴らします。3秒では1回、8秒では2回、15秒では3回、30秒では4回ビープ音が鳴ります。ホットキーコマンドに関する詳細は、ユーザマニュアルのホットキーコマンドを使用するセクションをご覧ください。

## ホットキーコマンドを使う

WindowsまたはLinuxのバージョンを実行しているコンピュータを使用している場合、ホットキーコマンドを使用してKVMスイッチを操作することができます。ホットキーコマンドはすべて**Left Ctrl (左Ctrl)** キーを2回押してから、1つか2つのキーを押して操作します。

コマンドを正しく入力するとKVMスイッチが高いビープ音を鳴らします。コマンドが間違っていると低いビープ音を鳴らします。間違ったホットキーコマンドはコンピュータには送信されません。

**注記:**ホットキーコマンドは、macOSオペレーティングシステムではサポートされていません。

## ホットキーコマンドを無効にする

デフォルトでは、ホットキーコマンドはKVMスイッチで有効になっています。

- ホットキーコマンドを無効にするには、**Left Shift (左Shift)** キーを押し下げたまま **Num Lock (ナムロック)** キーを2回押します。**Left Shift (左Shift)** キーを放してから、**Left Ctrl (左Ctrl)** キーを押します。

ホットキーコマンドを有効にするにはホットキーコマンドを無効にする際に使用したキーを順番どおりに繰り返します。

## コンピュータを選択する

- コンピュータを選択するには、**Left Ctrl (左Ctrl)** キーを2回押してから、選択したいPCポートの番号を押します。例えば、コンピュータ2を選択するには、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**2**を押します。

**注意!**上記のホットキーコマンドを入力する際、キーボード右側のキーパッドは使用しないでください。

## オートスキャン

- オートスキャンを開始するには、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**F1**を押します。オートスキャンのプロセス進行中はポート選択/リンクLEDが点滅します。

オートスキャンを終了するには、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**Left Ctrl (左Ctrl)**を押します。

## スキャン時間を設定する

スキャン時間は、3、8、15、30秒のどれかに設定できます。

- オートスキャンを変更するには、**左Ctrl**、**左Ctrl**、**F3**を押します。

スキャン時間ごとにKVMスイッチがビープ音を鳴らします。3秒では1回、8秒では2回、15秒では3回、30秒では4回ビープ音が鳴ります。

## コンピュータを手動でスキャンする

マニュアルスキャン機能を使用すれば、KVMスイッチに接続された電源入りのコンピュータ間を手動で切り替えることができます。

1. マニュアルスキャンを開始するには、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**F2**を押します。
2. 次の手順のひとつを実行してください。

- **UP (上向き) 矢印キー**で前のコンピュータを選択します。
- **DOWN (下向き) 矢印キー**で次のコンピュータを選択します。

マニュアルスキャンを終了するには、別のキーをどれでも一つ押します。

## オーディオスティック機能を無効にする

デフォルトでは、KVMスイッチのオーディオスティックは無効になっています。つまり、オーディオの選択は、選択されているコンピュータによって決まります。例えば、コンピュータ2に切り替えると、オーディオ選択はコンピュータ2に切り替わります。

オーディオスティックを無効にして、現在選択されているコンピュータからオーディオ選択を独立させることができます。例えば、コンピュータ1を選択してからコンピュータ2に切り替えても、オーディオ選択は変更するまでコンピュータ1のままになります。

- オーディオスティック機能を無効にするには、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**F5**を押します。

KVMスイッチが1回鳴り、オーディオスティック機能が無効になったことを示します。

オーディオスティック機能を有効にするには、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**A**を押します。KVMスイッチが2回鳴り、オーディオスティック機能が無効になったことを示します。

## USBポートルール機能を有効または無効にする

KVMスイッチには、コンソール側のUSBポートを操作するUSBポートルール機能が備わっています。USBポートルール機能がオンになっていると、USBポートの選択は選択するコンピュータによって判断されます。例えば、コンピュータ1をコンピュータ2に切り替えると、USBポートの選択はコンピュータ2に切り替わります。USBポートルール機能がオフになっていると、USBポートの選択は選択するコンピュータとは切り離して判断されます。

1. 次の手順のひとつを実行してください。

- USB1のUSBポートルール機能を無効にするには、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**F7**を押します。
- USB2のUSBポートルール機能を無効にするには、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**F8**を押します。
- USBのいずれかのUSBポートルール機能を有効にするには、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**Left Ctrl (左Ctrl)**、**U**を押します。

**注記:** 次のコンピュータに切り替える前にUSB対応デバイスが正しく接続されているか確認してください。

## 別のホットキーコマンドを使用する

コンピュータを選択するには、Left Ctrl (左Ctrl) ホットキーコマンドのほかに、2つのコマンドがあります。

- **Scroll Lock (スクロールロック)、Scroll Lock (スクロールロック)、<選択したいポートの番号>**を押します。
- **Left Shift (左Shift)** キーを押し下げたまま**Num Lock (ナムロック)** キーを2回押します。**Left Shift (左Shift)** キーを放してから、選択したいPCポートの番号を押します。

**注記:**上記のホットキーコマンドを入力する際、キーボード右側のキーパッドは使用しないでください。

## トラブルシューティング

### ワイヤレスマウスとキーボードが動作しない

一部のワイヤレスマウスとキーボードはKVMスイッチで動作しますが、一般的にほとんどのワイヤレスマウスとキーボードはKVMスイッチをサポートしていません。セットアップでワイヤレスマウスとキーボードを使用していて、KVMスイッチで問題が発生している場合は、次の手順を実行してください。

- ワイヤレスマウスとキーボードのトランスミッタをコンソールUSBマウスポートとコンソールUSBキーボードポートから外し、KVMスイッチのUSBハブポートの1つに移して接続します。

**注記:**ワイヤレスキーボードのトランスミッタがUSBハブポートの1つに接続されている場合、ホットキーコマンドは機能しません。

それでも問題が解決しない場合は、ワイヤレスマウスとキーボードを有線のマウスとキーボードに交換してください。

## ゲーミング/コンビネーション マウスとキーボードが動作しない

ゲーム用のマウスとキーボード、そしてコンビネーションのマウスとキーボードは、3ボタンマウスと104キー キーボードより多くのボタンと機能を備えています。ほとんどのKVMスイッチは追加のキー機能をサポートしておらず、セットアップで使用するとKVMスイッチの性能に影響を与える可能性があります。そのため、StarTech.comでは、標準の3ボタン有線マウスと104キー有線キーボードをセットアップで使用することを推奨しています。

## 使用しているディスプレイまたはビデオ出力先がDisplayPortとは異なるタイプのビデオコネクタを使用している

セットアップのディスプレイまたはビデオの出力先にDisplayPortとは異なる種類のビデオコネクタが使用されている場合は、コンバータを使用して出力の種類を変更できます。利用可能な異なる種類のコンバータの詳細については、[www.StarTech.com](http://www.StarTech.com) をご覧ください。

## キーボードをKVMスイッチに接続すると入力動作が継続する

次の解決策を試してください。

- Windows OSのバージョンを実行している場合は、Control Panel (コントロールパネル) でキーボード設定に移動し、表示までの待ち時間と表示の間隔を調節して、キーを押し続けても入力が繰り返されないようにします。
- キーボードがKVMスイッチのUSBキーボードポートのいずれかに差し込まれている場合は、それを外してUSBハブポートのいずれかに差し込んでください。

**注記:**キーボードがUSBハブポートに接続されている場合、ホットキーコマンドは使用できません。

## マウスがモニタ間を正常に移動しない

Windows OSのバージョンを使用している場合は、マウスをモニタ間で適切に移動させるにはWindowsのモニタを並べ替えてセットアップ中のモニタの物理的な位置と一致させる必要があります。

1. **Control Panel (コントロールパネル)** で、表示設定に移動します。
2. オペレーティングシステムでのモニタの順序を確認するには、**Identify (識別)** をクリックします。
3. オペレーティングシステムでの順序がモニタの物理的な順序と一致するまで、**Monitor (モニタ)** のアイコンをクリックしてドラッグします。
4. **OK** をクリックして設定内容を適用し、画面を閉じます。

# 技術サポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてサポートが必要な場合は、[www.startech.com/support](http://www.startech.com/support) までアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンラインツール、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

ドライバやソフトウェアに関する最新情報は [www.startech.com/downloads](http://www.startech.com/downloads) でご確認ください

## 保証に関する情報

本製品は3年間保証が付いています。

StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

### 責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害 (直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。

見つけにくい製品が簡単に見つかります。StarTech.comでは、これが企業理念です。それは、お客様へのお約束です。

StarTech.comは、お客様が必要とするあらゆる接続用パーツを取り揃えたワンストップショップです。最新技術からレガシー製品、そしてこれらの新旧デバイスを一緒に使うためのあらゆるパーツ。当社はお客様のソリューションを接続するパーツを見つけるお手伝いをしています。

当社はお客様が必要なパーツを見つけるのを助け、世界中どこでも素早く配送します。当社の技術アドバイザーまでご連絡いただくか、当社のウェブサイトまでアクセスしていただくだけで、お客様が必要としている製品をすぐに提示します。

StarTech.comが提供しているすべての製品に関する詳細な情報は [www.startech.com](http://www.startech.com) までアクセスでご確認ください。ウェブサイトだけの便利なツールをお使いいただけます。

StarTech.comは接続や技術パーツのISO 9001認証メーカーです。StarTech.comは1985年に創立し、米国、カナダ、イギリス、台湾に拠点を構え、世界中の市場でサービスを提供しています。